直進アシスト田植機《PR・PRJ・NP》 簡易ガイド

今回紹介する情報は、井関農機より販売中の田植機新型機PR・PRJ,旧型NPシリーズの 直進アシスト機能(Z型)付きの簡易ガイドになります。

Point 操作方法を簡単におさらいして来年の田植えに備えましょう。
これからアシスト機を導入したいという方も是非ご参考になさってください。
この資料は簡易ガイドとなります。詳細な操作については取扱説明書をご確認ください。



O現在井関で直進アシスト機能付きの田植機は、新型機PR・PRJシリーズ 旧型NPシリーズ となっております。

新型機であるPR・PRJシリーズは、直進アシストに加え<mark>旋回アシスト</mark>機能も加わりました。

GPSについて

O直進アシスト田植機「オペレスタ」は、D-GNSSを採用しており複数の衛星から情報を受け取っています。



○衛星の数が上空に少ない時や配置に偏りがある時、衛星電波が影響を受けるものの近くで作業を行うと 直進作業の誤差が大きくなることがあります。

システム暖気について

Oエンジン始動時システム暖気(約5分)を行います。一度システム暖気が完了するとエンジン停止後約2時間 以内であれば、エンジン再起動後すぐに作業を再開できます。

1 起動時5秒間は機体を<mark>静止</mark>させてください。 2 約5分GPS測位を行います。走りながらでもOK。

直進アシスト機能 井関《PR·PRJ·NP》Z型式 《

O直進アシスト機能は旋回アシスト切替スイッチが「OFF」「バックターン」 「Uターン」のいずれの位置でも使用できます。直進アシスト機能のみ 使用する場合は旋回アシスト切替スイッチを「OFF」にしてください。 旋回アシストスイッチを使いたい機能に合わせ使用してください。



-+TURN



〇直進アシスト機能の準備完了後は、以下の手順に従って作業を行ってください。
 ①植付部を下げた状態で直進アシストレバーを下げA点を取得してください。
 ②直進アシストレバーを下げB点を取得してください。(基準線を決定)
 ③旋回後基準線に対して平行に植付作業を行いながら、直進アシストランプ点滅中に直進アシストレバーを上げると直進アシスト機能「入」となり基準線に対して平行に走行します。
 ④あぜへ近づいたらあぜ際接近警報が鳴るので直進アシストレバーを上げアシスト「切」にし手動運転であぜ際まで植付作業を行います。
 ⑤以降③④を繰り返し植付作業を行います。

直進アシストモニター





旋回アシスト機能《Uターン》 《PR·PRJ》Z型式

O旋回アシスト機能《Uターン》はフィンガーレバー操作だけで、旋回操作・条合わせ・植付操作 直進アシスト機能「入」を自動で行ってくれる機能です。

事前準備 Zターン「ON」、電動マーカー切替スイッチ「自動」、旋回アシスト切替スイッチ「Uターン」

+TURN



<mark>《 注意 》</mark>

直進アシストが「入」にできない時

- 1 植付部が上がっている 植付部が上げた状態では、直進アシスト「入」になりません。
- 2 副変速が「移動」の位置になっている 副変速が「移動」の位置では、直進アシスト「入」になりません。 副変速を「植付」の位置にしてください。
- 3 基準線に対して進行方向がずれている 機体の進行方向が基準線に対してずれている場合、直進アシスト「入」になりません。 進行方向を直進アシストモニターのA・B点ランプの点滅方向へ修正してください。

進行方向が右にずれている場合



進行方向が左にずれている場合



4 GPS受信状態が悪い

GPS感度ランプが赤点灯またはモニターパネルのGPSレベルが1になっている。 直進アシストは使用できません。手動運転を行ってください。 機種NPとPRによってメーターパネルの表示方法が異なります。

GPS感度ランプ	モニタパネル(NP)	モニタパネル(PR)	直進精度
青ランプ点灯	GPS-L5	Lv5	GPS測位レベルは十分です。
青ランプ点滅	GPS-L4	≪\$ Lv4	GPS測位レベルは十分ですが まれに直進精度が悪化する恐れがあります。
橙ランプ点灯	GPS-L3	¥۲ (ک	GPS測位レベルは十分ですが 直進精度が悪化する恐れがあります。
橙ランプ点滅	GPS-L2		GPS測位レベルが不十分です。 直進精度が悪化しやすい状態です。
赤 ランプ点灯	GPS-L1	Lv1	GPS測位不能。 直進及び旋回アシスト機能を使用できません。



